神小だより 第7号

神山町
神領小学校
学校便り

令和8年11月5日

充実した秋にしよう

運動場の木々も色づき始め、朝晩の寒さに初冬の訪れを感じる季節となりました。過ごしやすい秋の深まりとともに、子どもたちは学習やスポーツ、読書等に落ち着いて取り組み、実り豊かな時間を過ごしています。先月の運動会では、温かいご声援をいただき誠にありがとうございました。仲間と力を合わせ、最後まであきらめずにやり遂げた体験は、子どもたちにとって大きな自信となったようです。行事を経て、顔つきが一回りたくましくなったように感じられます。11月は「実りの秋」これまでに培った力を日々の学習や生活にしっかりと生かし、互いに認め合いながらさらに成長できるように支援してまいります。

令和8年度神領小学校運動会



10月31日(土)爽やかな秋晴れのもと、今年度の運動会を無事開催することができました。保護者の皆様には、早朝より足を運んでくださり、子どもたちに温かい拍手と大きな声援を送ってくださりありがとうございました。

今年度の運動会は「心を燃やせ　最後まで　笑顔輝く　チーム神領！」というスローガンのもと、子どもたち一人ひとりが自分の目標に向かって全力で取り組みました。何より嬉しく、そして誇らしく感じたのは、競技や演技の「結果」そのもの以上に、そこに至るまでの「過程」で見せてくれた子どもたちの姿です。毎日の練習の中では、思い通りにいかず悔しい思いをしたことや、技がなかなか決まらず悩んだこともあったはずです。それでも、諦めずに何度も練習を重ねてきました。

運動会当日のグラウンドには、そうした日々の積み重ねが表れていました。最後まで諦めずに前を向いて全力で駆け抜けた徒競走、仲間と息を合わせて表現したダンスや阿波踊り、一瞬一瞬に全力を注いだ団体競技、どの場面においても、子どもたちの真剣なまなざしと、笑顔が輝いていました。また、自分の出番だけでなく、係活動や応援に全力で取り組む高学年のリーダーシップも実に頼もしいものでした。自分の役割に責任を持ち、学校全体を支えようと動く姿は、下級生にとって大きなあこがれとなったことと思います。勝ち負けだけでなく、お互いの健闘をたたえ合って大きな拍手を送る姿には、この運動会を通した子どもたちの確かな心の成長を感じ取ることができました。

運動会という大きな行事を一つやり遂げた子どもたちの胸には今、「やればできる」「仲間と力を合わせることは素晴らしい」という大きな自信が生まれたと思います。これこそが、学校行事を通してもたらされる最大の財産です。行事で得た達成感や学びは、日々の学校生活の中で生かされてこそ本当の力となります。これからの学校生活においても、今回の運動会で育まれた「最後まで諦めない心」や「仲間を思いやる心」を大切にし、子どもたちがさらに成長できるように、今後も指導・支援を続けてまいりたいと思います。








